

1 歳 せんしゅん 時 記

各大学より  
インターンシップ受け入れ

…地元のみなさんとともに



「京都女子大学 1名」(財団法人 コンソーシアム京都より)  
「文教大学 2名」(財団法人 コンソーシアム京都より)  
「京都学園大学 4名」 計 7名

千春会では、医療・介護業界を学ぶ機会として大学生のインターンシップを受け入れています。

インターンシップは、大学生が大学の単位となる職場実習を通じて、「働くという事」「社会人として」「実際の仕事」など多くの事を学び、今後の将来を考える糧とする制度です。

今回は、法人本部にて、オリエンテーションや接遇、法人説明会の運営や事務作業を通じて、効率的な業務の在り方等を体験実習しました。さらに介護スタッフとして「介護老人保健施設 春風」のショートステイにて、計 14 日間の体験をしました。



利用者さまと対話したり、入浴介助の見学、レクリエーションや夏祭り

作業担当や効率化のグループディスカッション

担当など社会人として働くという、大学では学べない事を経験し、緊張と戸惑いの中、頑張りました。振り返りでは、「事務職体験・介護スタッフ体験など、大学生活では経験出来ない気づきがあり、仕事の大変さだけでなく、楽しそうな利用者さんや明るく働く職員さんの姿、充実した施設などを見て、医療・介護に対する実習前の暗いイメージがガラッと変わり、格段に良くなりました。」と笑顔で目を輝かせていました。



レクリエーションにチャレンジする大学生

2 歳 せんしゅん 時 記

今年も平和を願って  
「千羽鶴」を長岡京市へ  
お届け

毎年、長岡京市が公募している「平和を祈る折り鶴」は、「長岡京市平和記念碑(JR長岡京駅東口)へ」献納後に「広島市原爆の子の像」へ献納される市民の折り鶴です。

昨年に引き続き、今年もデイサービスの利用者さまが、心をこめて千羽の鶴を折りました。一つ一つ丁寧に折られた鶴を手に、デイサービスの利用者さんを代表して、吉野さんと廣垣さんがスタッフと一緒に長岡京市役所にお届けしました。

みなさんの平和への想いを羽に乗せた、色鮮やかな鶴が見事でした。



デイサービス滝ノ町ご利用の吉野さん、廣垣さんから市職員の方へ

**編集後記**  
猛暑が続いた今夏 8 月。住宅街の中に開設された「東向日(今号表紙)」は、ご自宅の延長とも言える施設です。地域交流スペースの活用も、地域の子ども達の安全確保対応も視野に入れていきます。「千春会は子ども達も高齢者の方も、しっかり地域で見守る。」と、そんな決意と想いあふれる法人の中にて一首…。  
記録的 猛暑の夏もなんのその  
まだまだ暑い千春会かな。(字余り) (弘)

患者さまの権利と義務

- 当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。
- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
  - 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
  - 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
  - 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
  - 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
  - 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院  
**千春会病院**  
〒617-0826 京都府長岡京市開田 2 丁目 14-26  
TEL (075)954-2175 FAX (075)955-4615

2012年9月号 Vol. 32 (2012年9月1日発行)

せんしゅん



<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会  検索

発行責任者：菊地 孝三



8月1日オープン  
「介護複合施設 東向日」外観 (向日市寺戸町)

理念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

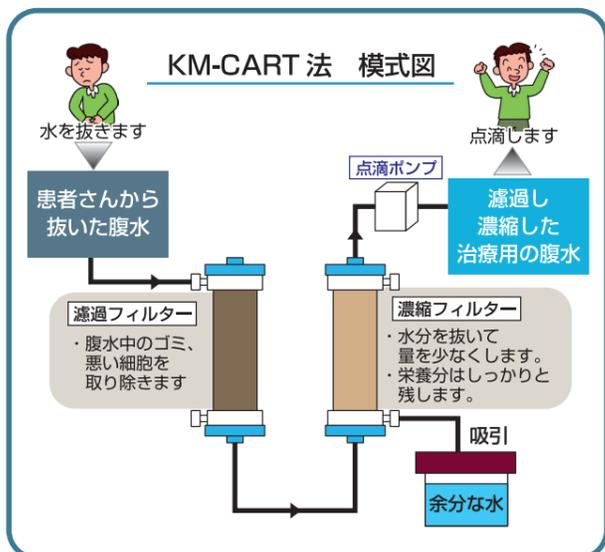
## 7月より、千春会病院で「腹水治療 (KM-CART)」が始まりました

新たに開始した「腹水治療 (KM-CART)」について、担当医の高垣 伸匡先生に現状や治療法などをお尋ねしました。

### ● 7月から、千春会病院で「腹水治療 (KM-CART)」が始まりましたがどのような治療ですか

「CART (腹水濾過濃縮再静注法)」とは1980年代から実施されている保険適用の治療法で、さらに改良されたものが「KM-CART」です。

図のように患者さまの腹部から腹水を抜き、腹水中の細菌や悪性の細胞を取り除いた後、栄養分など必要なものを残して濃縮した「治療用の腹水」を点滴で体内に戻す方法です。



### ● 「KM-CART」で腹水を抜く場合の効果は

ただ単に腹水を抜いて捨てるだけでは、栄養分まで廃棄してしまう事になるため、相当体力が落ち、倦怠感も増します。「KM-CART」法では、抜いた腹水の栄養分は残して、体内へ戻しますので急激な体力低下を防ぐ事ができるわけです。

大量の腹水でお腹が張ると消化管が押さえられ、食欲が低下してしまいます。腹水を抜く事で食事が摂れるようになり、足のむくみも多くの方が軽減されます。

### ● 改善された「KM-CART」法の利点は

従来の「CART」法は透析の機械を使用しなければなりませんでしたが、透析室の空き時間に行わねばならず、様々な制限がありました。しかし、「KM-CART」は、透析の機械は不要で、腹水の処理速度が



たかがき のぶまさ  
内科 高垣 伸匡 先生  
京都府立医科大学 卒業 医学博士  
<専門>消化器内科・総合内科

速く、場所を選ばないのが最大の利点です。従って、今後将来的には、往診して患者さまのご自宅でも実施することも視野に入れております。

### ● 治療を受けるにはどうすれば良いですか

まず、病状把握のため、主治医の先生からの紹介状をお持ちいただき、外来で診察と検査を受けていただきます。受診後、日程を設定して1泊2日の入院による治療となります。この治療は、かかりつけ病院、診療所との連携と協力が大切です。治療後は患者様を主治医の先生にお返しするというスタンスでの治療を心がけています。

### ● ガン患者さまの場合「腹水」で悩んでおられる方が多いと聞きますが

腹水が溜まれば化学療法が出来ない等の理由で、治療が中断され「ガン難民」となられる方が多いのです。頼りにしていた病院から見放された患者さまの精神的な不安や孤独は、はかりしれません。「KM-CART」法で症状が緩和し、動けたり、痛みがなくなり、寝たきりだった方が歩いて帰られることもあります。積極的に取り組むことで「前向きになれた」と喜んでいただいています。

### ● 今後の千春会病院での「腹水治療 (KM-CART)」をどのようにお考えですか

「希望があればすぐ対応すること」をモットーに、抗がん剤併用をはじめガン性腹膜炎の治療に努めたいと考えています。

駅前という通院立地の良さを活かした外来治療や近隣の方なら「訪問」での治療など、前向きな緩和医療として「ハイパーサーミアクリニック」とも連携し、ニーズの高まる「緩和ケアを在宅で」という医療の一助になりたいと未来像を描いています。

#### 治療についてのお問い合わせ

千春会病院 (075)954-2175 内科 高垣 伸匡 先生

たかがき のぶまさ

## 8月1日 オープン！ 介護複合施設 東向日



向日市初の  
認知症対応型 デイサービス

日曜日、祝日営業  
デイサービス・ショートステイ

1F デイサービス「東向日」

介護複合施設 東向日 (今号 表紙外観写真) は、『在宅支援施設』として、その時々状況に応じた複合施設ならではのサービスをご提供いたします。

日曜、祝日営業の  
デイサービスで

通い慣れた場所で  
環境を変えずに

生活の場に近く、  
より身近に



ショートステイの居室 (2F)

これより「東向日」は、複合施設の良さを活かした良質な介護の提供により、皆様方がご自宅で安心して暮らしていただけるよう、職員一同、力を尽くしてまいります。

### 7月27日 吉日 内覧会開催

当日は猛暑の中、地元関係の方々、各病院理事長・院長、地元開業医の先生方、また、向日市副市長はじめ地元の



菊地理事長(右より3人目)、北マネージャー(左より2人目)とご来賓の方々

府議会・市議会議員の方々、関連事業所の方々が足を運んで下さり、総勢300名近い皆さまが激励にお越し下さいました。



多くの方で賑わう受付付近

### 介護複合施設 東向日

〒617-0002 京都府向日市寺戸町北前田 29-1

☎ 075-924-5120

通常型 デイサービス 東向日  
短期入所生活介護 ショートステイ 東向日  
認知症対応型 デイサービス 花車

1F 地域交流スペース

＜新任のご挨拶＞

2012年9月1日から千春会病院に勤務をさせて頂くことになりました、石田裕彦と申します。

私は、平成6年に愛媛大学医学部を卒業し、京都府立医科大学泌尿器科学教室に入局しました。

「プロフェッショナル」という言葉には、神に告白(Profess)・約束するという意味があり、自らの専門的能力を社会の繁栄と人々の幸福のために活かすと神に誓うからこそ「プロ」であり、そのような医師の「プロ」になろうとする使命感を持った人が、公に神と約束しているという深い意味がこめられていると謂われています。

近年、超高齢化社会を迎えた QOL (生活の質) の重視という現代の流れに従って、泌尿器科医のニーズは、増加の一途をたどっています。

そこで、泌尿器科医の「プロ」として、生涯を通して学びつづけ、専門医・指導医として、自分を磨きつづけ、社会の繁栄と人々の幸福のために貢献するために、技術・能力を身につけて、眼の前の患者さんのために、愛の気持ちをもってそれを施行したいと考えております。これから、千春会の理念の理解と実践に努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



泌尿器科：石田 裕彦

＜プロフィール＞

＜略歴＞
平成 6年 愛媛大学医学部卒業
京都府立医科大学附属病院
平成19年 丹後中央病院
平成20年 亀岡シミズ病院
平成21年 宇治武田病院
洛西ニュータウン病院

＜資格＞
日本泌尿器科学会専門医
日本泌尿器科学会指導医

＜専門＞
泌尿器科

NEWS ニュース

乙訓地域全体で取り組む 嚥下食 (飲み込みやすく、食べやすい食事)

千春会病院 栄養科が セミナー講師を担当

現在、「京滋 摂食・嚥下を考える会」の乙訓地域独自の活動として「嚥下障害の程度に応じた適切な食事形態に関する知識を乙訓地域全体に広めること」を目的に、地域の病院や施設における食事形態等の情報交換を通じ、連携を深める取り組みが済生会京都病院を中心にはじまっています。

その中で、千春会病院は乙訓地域の世話人となっており、「より良い医療と栄養」について積極的に取り組んでいます。

8月18日には、医療機関、施設、在宅にて食事に携わる多職種の方を対象に「口から食べるための食事 第1回 嚥下食と調理実習」と題したセミナーが、長岡京市中央生涯学習セ



多くの医療・介護関係者が出席する中で講演中の当院 谷中臨床栄養師

ンターで開催されました。調理実習、グループワーク、試食会等が行われ、講師として当院の谷中臨床栄養師が担当しました。

会では、今後も定期的に研修会や情報交換等を行うことで、乙訓地域での食事に関する相互理解を図る予定です。

この冬 開設予定

京都府下 初の新築！ サービス付き高齢者住宅 (デイサービス・24時間巡回型 訪問介護センター 併設予定)

パティナー 一文橋

(向日市上植野町)

向日市の「一文橋」東詰に建設中のサービス付き高齢者住宅「パティナー 一文橋」は、冬の開設を目指し、現在急ピッチで工事を進めております。

医療と介護の連携を密にした安心・安全の運営はもとより、落ち着いた外観と共に、「充実の住まい」を提供できるように内部設備を整えております。さらに「24時間巡回型 訪問介護センター」や「デイサービス」も併設される予定です。



完成予想図 外観



2F イメージ 住宅部分と共用部分

サービス付き高齢者住宅「パティナー 一文橋」

家賃、住宅構造など、サービス内容などの詳細をお知りになりたい方は？

このバナーが目印です。



「国土交通省」ホームページから「住宅・建築」を選択、「サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システム」で「パティナー 一文橋」が検索できます。

ご報告

「在宅強化型老健」として 届出

介護老人保健施設 春風

いつまでも ご自宅で暮らしていただくために…

京都府下でも数少ない「在宅強化型老健」とは 厳しい要件を満たし「在宅復帰・在宅支援機能」が高い老健に認められる基準です。

昨年開設の「介護老人保健施設 春風」は7月より、「在宅強化型老健」として届け出をいたしました。

開設以来、介護スタッフはじめ相談員、セラピスト、管理栄養士、医師、看護師など多くの専門家が関わり、真剣に利用者さまの在宅復帰を目指す中、様々な条件を満たすことができました。

これからも「在宅復帰の中核施設」としての役割をしっかりと果たすべく、さらなる努力を重ねてまいります。



「老健」専用機能訓練室(2F)にてセラピストと共に訓練中の利用者さま

「在宅強化型」を届け出するためには、以下の厳しい要件が必要となります。

- 過去6か月の在宅復帰率が50%以上
過去3か月のベッド回転率が10%以上
過去3か月の要介護度4・5以上の方の割合が35%以上